



地区行動目標：「原点を知り、考える」 クラブスローガン：「協力し合い、楽しもうクラブライフを！」

国際ロータリー第 2790 地区 第 3 分区 A

千葉西ロータリークラブ



WEEKLY COMMUNICATION

創立 1976年1月20日 承認 1976年2月25日
 会長 野口正夫 幹事 藤崎泰裕
 例会場 千葉スカイウインドウズ 東天紅 センシティタワー23階
 TEL 043-238-5555
 例会日 毎週火曜日 12:30～
 事務局 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階
 TEL 043-245-3202 FAX 043-245-7522
 E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp
 URL : http://www.chibawest-rc.net/

会長挨拶

■野口正夫 会長

皆様 今日は 石灯籠に苔むす姿を見た事があると思います。
 石灯籠は正確には五輪塔といい 上から空風火水地と云う五大（仏教的宇宙の構成要素）が形になって

います。
 それぞれが別の石で切り出され それが積み上がった形状をしています。この手法は五輪塔や卒塔婆

にも適用されています。
 日本の国歌「君が代」に 千代に八千代にさざれ石の巖となりて苔のむすまでという歌詞がございます

すが 時がたってあの石もこの石も苔がむすほどもになったという意味です。

さざれ石は特定の石というより そういう積年を耐えてきた石をいいます。

“むす”というのは「結」糸へんに吉と書きます。「結び」は「産霊（むすひ）」の意味で生まれる

産出する 育つという意味を持っているそうです。

苔が石に生えたのではなく 石が苔を生じたという意味を持つのです。古くから石が何かを生じたという見方は昔からあって神

の力が宿っているという信仰は今でも生活の中に生えています。それを石神(しゃくじ)といっています。東京に石神井(しゃくじい)

という地名があるのは その名残だそうです。



■四つのテスト／三上 浩 会員

「言行はこれに照らしてから」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの為になるかどうか



Rotary



■お客様

今井 忠 様（東京臨海 RC）
 勝田 秀一 様（柏 RC）
 水元 誠太 様（中谷会員後任）



■退会挨拶

中谷 喜貞 会員

皆様には、100%感謝しかありません。

こんなに良くしてもらった経験はこれまでありませんでした。大阪へ帰ります。

帰っても、ロータリーで教えてもらったことを忘れず頑張ります。

ありがとうございました。

■クラブフォーラム 主催／ロータリー財団委員会 瀧澤 弘隆 ロータリー財団委員長

私は今年度、園川裕副委員長、今野文明副委員長、阿部紘一委員と共にロータリー委員会をお預かりしております。財団委員会としてロータリー財団について暫く

お時間を頂きお話しさせて頂きます。

ロータリー財団は、ロータリー誕生 12 年後の 1917 年に、アトランタ国際大会にてアーチ C. クランフが「全世界的規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野で

より良きことをするために基金を作ろう」と提案し創設され、間もなく一世紀を迎えようとしています。

百年の間には、活動内容や目的が大きく変わりましたが、創設時の理念だけは変わっていません。財団管理委員会は、ロータリー財団奉仕活動が第 2 世紀目に入る

ことに鑑み、2013-14 開口年度から大きく舵を切りました。それがフューチャービジョン Future Vision「未来の夢計画」であります。それまでに余りにも多くな

り複雑で判りにくくなっていたプログラムを一括整理し、解り易く、会員に手の届く財団に変わりました。未来の夢計画では、DDF（地区活動資金）による 4 プロジェ

クトに纏められました。即ち、①地区補助金プログラム、②グローバル補助金プログラム、③平和フェロープロジェクト、④ポリオプラスプロジェクトになりました。

●寄付者は、個人、法人、クラブ、地区、ソーンの何れかで、三井住友銀行赤羽支店にある「公益財団法人ロータリー日本財団」の普通預金口座に振り込みます。ドル

建てて寄付しその時のドル円 RI レートで換算され寄付金となり、ロータリー財団に送金され一括活用されます。

●寄付金の種類

寄付金には年次基金寄付、使途指定基金寄付、恒久基金寄付の三種があります。

1. 年次基金寄付は、一般的な用途の基金で、3 年間資金運用されてその運用益が国際ロータリーの運営費に充てられ、元金が、国際財団活動資金 (WF:World Fund) と地区財団活動資金 (DDF:District Designated Fund) に 50% ずつ分けられます。WF はロータリー財団管理委員会がその使途を決定します。一方地区に戻

された DDF は、更に地区補助金とグローバル補助金に半分ずつ分けられます。地区補助金は地区での、人道的、教育的な奉仕活動やクラブでの奉仕活動の支援に充て

られます。グローバル補助金は、ロータリーの 6 つの重点分野に限って使用されます。

グローバル補助金には WF から同額が上乗せされ、更にクラブがグローバル補助金に現金寄付をしますと、WF からその半額が上乗せされ、更に大きな奉仕活

動が可能になります。また、ロータリー平和フォローシップ、ポリオプラスの寄付にも使えます。

当地区では 1 人毎年 130 ドル以上の寄付をお願いしていますが、当クラブでは 150 ドルを目標にしております。

2. 使途指定寄付はポリオプラス寄付が主です。1985 年から取組み始め、30 年を超える国際ロータリーのポリオ撲滅への道は最終段階に入ったといわれて何年

経過します。取組み当初には 125 カ国で年間約 35 万人の発症がありましたが、昨年ナイジェリアのポリオフリーの宣言が出てアフリカ大陸からのポリオも撲滅され、

残る常在国はアフガニスタンとパキスタンの 2 カ国となり、昨年はこれらの国での 74 人の発症でした。ゲイツ財団がロータリー寄付金の倍額を保証していますが、

一昨年 8 月で不足額が 5-6 億ドルと見込まれていました。このプロジェクトは他の如何なるプロジェクトより優先され、寄付金総額の約 15% がポリオに指定され、

日本では約 10% となり当地区でも同様であります。ポリオ指定寄付をすると、クラブで 1,500 ドル以上のクラブに RI から感謝状が贈られます。

3. 恒久基金寄付は、元本はそのままで運用され、運用益だけが WF と DDF に 50% ずつ振り分けられ、無駄なく有効に使われています。2017 年までに 10 億

ドルを目標にして募金しています。